

蒲郡北地区
かわら版
第3号

蒲郡北地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

蒲郡市では、今後進む人口減少・少子高齢化による社会情勢の変化を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで、地区内の公共施設（小学校・中学校・保育園・児童館・公民館）の将来のあり方について皆さまに考えていただく機会として「まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。今回は9月29日（日）に中部中学校にて行われた第3回ワークショップの様子をお伝えします。

ワークショップで話し合われている内容等についてご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップ参加者の皆さんと共有し、検討を進めていきます。（裏面の「ご意見募集」をご覧ください。）

検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップでのご意見をはじめ、地区の皆さまのご意見を踏まえて、蒲郡北地区の将来の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」の検討を進めています。第3回ワークショップでは、前回までのご意見を参考にし、事務局が作成した施設の再配置プラン案について意見交換を行いました。



9/29開催 第3回ワークショップ

5つの再配置プラン案の期待できることや不安なこと、さらに良くするにはどうしたらよいかなど、グループに分かれて意見交換を行いました。



次回のワークショップでは、各プランを評価・比較するための指標について検討を行う予定です。

再配置プラン案作成にあたっての考え方

第2回ワークショップまでの検討内容をもとに、地区の課題の解決策を12個の項目として整理しました。これらを活用して、コンセプトの異なるA～Eの5つの再配置プラン案を作成しました。

すべての課題を満足に解決するプランを作成することは困難ですが、複数のプランを比較しながら、より多くの課題を解決する再配置プラン案はどういったものか、検討していくことが必要です。

再配置を通じた解決策	再配置プラン案					A案 通学の安全を確保し、学校規模の適正化を図るプラン
	A案	B案	C案	D案	E案	
① 多様な方々の交流の場の創出	○	●	●	○	○	B案 北部地区と西部地区の新たな交流拠点をつくるプラン
② 地域での活動がしやすい施設配置	○	○	●	●	○	
③ 小学校の再編	●	○	○		●	C案 地域の交流拠点をつくるプラン
④ 小学校と中学校の一体化					●	
⑤ 子育て関連機能の集合	○	●	○	●	○	D案 地域性を維持し、各地に子育ての拠点をつくるプラン
⑥ 小学校内への児童クラブの設置	○	○	○	○	○	
⑦ 高齢者が活動できる場の整備	○	○	○	○	○	E案 充実した教育の拠点と世代間交流の場をつくるプラン
⑧ 自然災害からの安全確保			○		○	
⑨ 避難所・避難場所の適正配置	○	○	○	○	○	
⑩ 交通安全に配慮した施設配置	●	○		○		
⑪ 徒歩でアクセスしやすい施設配置	○			○		
⑫ 施設総量の縮減	○	○	○	○	○	

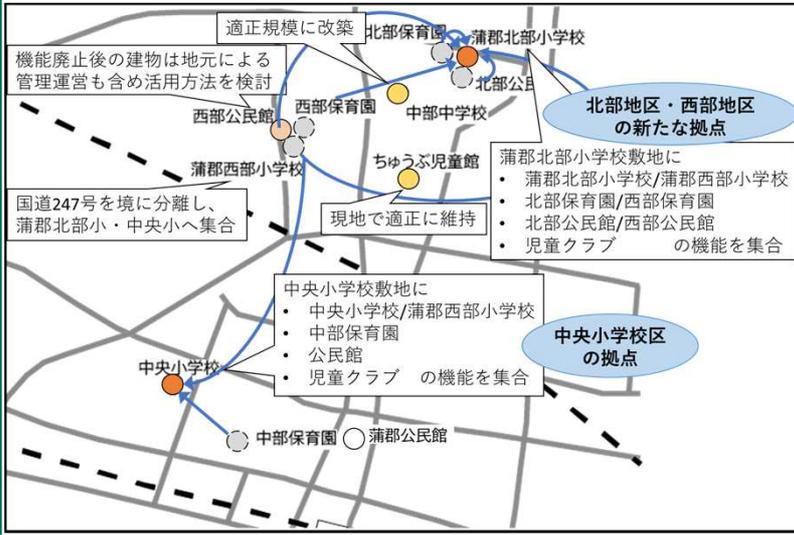
※ ●は再配置プラン案を作成するうえで特に重視した解決策を表しています。

5つの再配置プラン案についていただいたご意見

第3回ワークショップでは、地区の課題の解決策等をもとに事務局が作成した5つの再配置プラン案について議論しました。それぞれのプランについて、期待されること、懸念されること等のご意見をいただきました。なお、実際の施設整備は施設の老朽化具合や他地区・他施設の計画等を踏まえ、段階的に行っていくこととなります。

(○ : 期待 ● : 懸念 ・ : その他)

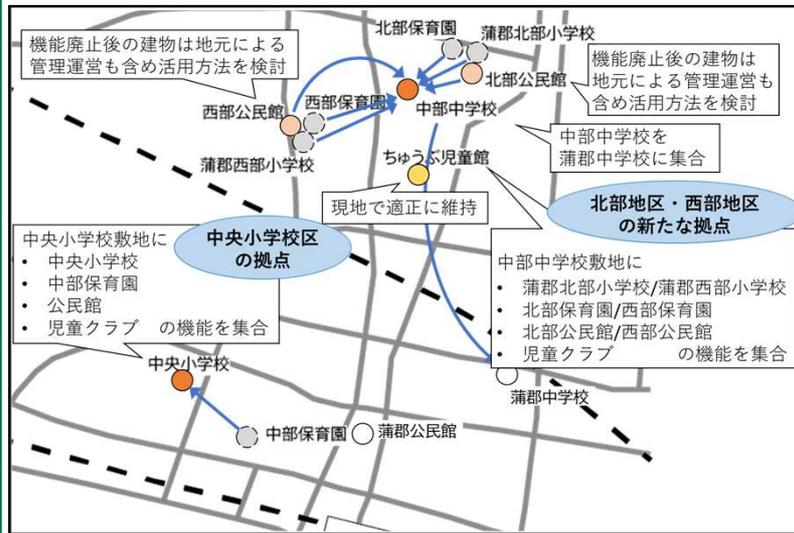
A 通学の安全を確保し、学校規模の適正化を図るプラン



- 【凡例】
- 機能集合
 - 存続
 - 廃止・解体
 - 跡地利用

- 国道247号を通学で行き来する危険がなくなり、交通事故のリスク低下につながる。
- (西部小の集合により) 小学校のクラス分けができる規模になるのは教育環境としてよいと思う。(B・E案共通)
- 中央小学校区で小学校・保育園・公民館が一か所に集まると地域の交流が生まれてよい。(B案共通)
- 西部小を国道247号で分離するのは、行政区との不一致が生じ、コミュニティへの影響が大きい問題だ。道路の安全性については歩道橋等で解決してほしい。
- 西部地区では中学生よりも通学距離の長い小学生が出てくるため、対策が必要になると思う。(B・E案共通)
- 少人数だからといって西部小をなくすのは長年の地域のつながりをなくしてしまうことにつながると思う。(B・E案共通)
- 公民館は地域の拠点なので、北部公民館と西部公民館の統合には無理があると思う。(B・E案共通)

B 北部地区と西部地区の新たな交流拠点をつくるプラン



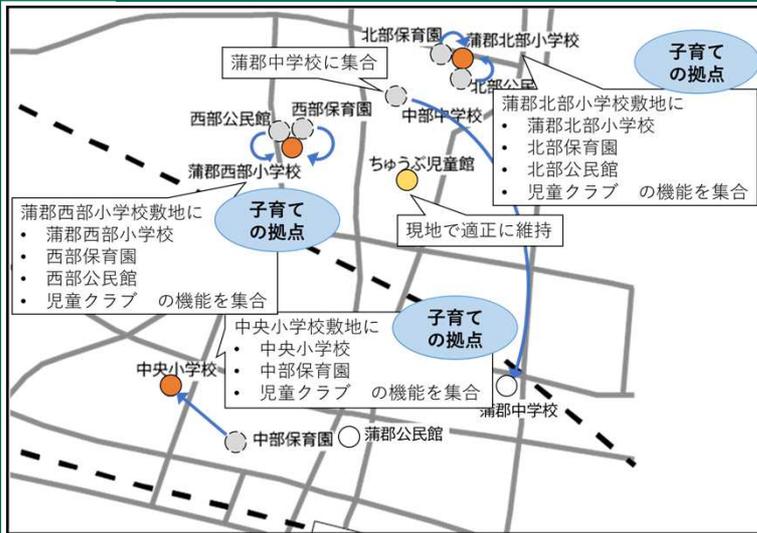
- 施設面積縮減、児童生徒数確保の面で効果がある。年月は必要だが理想で、検討する価値がある。
- 小学校(北部小・西部小)が中部中敷地に移ることで児童館との距離が近くなり、子どもにとって放課後の遊び場が近くなるので良い。
- 中部中を蒲郡中と集合すると通学距離が長くなるうえに、帰りは上り坂となるため、自転車通学でも不便だし、交通面や防犯面で心配だ。(D案共通)
- (中部中と蒲郡中は) 昔は1つだったので、中学校統合への違和感はないが、生徒数が多くなりすぎないかが不安。(D案共通)
- 北部地区・西部地区の施設がすべて使われなくなる。その後の活用方法がないか。
- 本当に人口や子どもが減るならば、西部小と北部小を統合するのはやむをえない。(A・E案共通)

C 地域の交流拠点をつくるプラン



- 中央小が西部小と集合することは、津波などの防災の面からは良いと思う。(E案共通)
- 中央小が2つに分かれることで、行政区と学区がどのように変わっていくのかが心配だ。児童の通学距離も考えて区割りをする必要があるだろう。(E案共通)
- 中部中の生徒数の確保が難しくなる。(A・E案共通)
- 中部保育園は人気があるので存続していてよい。保育士不足が心配なので、規模を拡大することで、サービスも拡充できないだろうか。(E案共通)
- 中央小跡地を市民プールとして活用できないか。(E案共通)

D 地域性を維持し、各地に子育ての拠点をつくるプラン



- 小学校は地域の核であり、現在の小学校を維持することで地域のつながりを保つことができる。
- 地域で子どもを育てる環境をつくるという教育委員会の方針を具現化できる案だと思う。そういった環境をつくるには、小規模校のほうが取り組みやすいと考える。
- 中学校の統合で職員数が確保できるようになり、学校教育のサービスが充実するだろう。(B案共通)
- 中部保育園が駅から遠くなってしまい、不便になると思う。(A・B案共通)
- 小学校の統合がなく、各学校の児童数確保が難しい。
- 中学生は地域で見守るよりも自立する世代なので、蒲郡中との統合には問題がない。また、中学生ならば、自転車通学もそれほど苦勞はないだろう。(B案共通)
- 小学校区のコミュニティを維持するため当面はD案で再編し、人口減少を確認しながら、コスト負担の軽減のために将来的にはB案を目指してはどうか。

E 充実した教育の拠点と世代間交流の場をつくるプラン



- 教育・防災・地域のつながりの面から良いプランだと思う。
- 施設面積の縮減の点で最も効果が期待できるだろう。
- 中央小の再編により、地区が空洞化して、人口減少などが加速しないかが心配。(C案共通)
- 保育園は、もともと地区毎に通うものではないので北部保育園と西部保育園の統合に問題はないと思う。
- 中央小は南部小から分離した経緯から、南部小へ統合することに対する地元の抵抗感はあるかもしれない。ただし、西部小へ統合することへの抵抗感はあるかもしれない。(C案共通)

全体に共通するご意見など

将来を見据えたプランの検討について

- 人口減少などの現状の課題だけでなく社会の変化も見越して、今後の見通しや基本条件となるものは何かを想定し、再配置を考えていく必要があるのではないかと。
- 将来的には合理化も必要なので、子どもや孫のことを考えて将来を設計する必要がある。
- 住みたくなる地域になるためには、縮小よりも多様なサービスを提供し、子育て環境を整えることが大事である。

施設の集合について

- 小学校や公民館や保育園などの施設は集合させて、多世代の交流が生まれるのが望ましい。合わせてソフト面での整備も必要である。

コミュニティについて

- 小学校はコミュニティの基本単位となっているので、できるだけ統廃合するべきではない。コミュニティへの影響も考慮して小学校の再編を議論すべきである。
- 祭りを中心とした地域のつながりの観点から、行政区に配慮した学区を考えるべきである。
- 公共施設がなくなるとコミュニティが崩壊するという危惧もあるが、いずれ新しいコミュニティは形成されるだろうし、一時的な現象ともいえる。

機能廃止後の施設の活用について

- 使われなくなった公共施設の建物や敷地を活用し、地域の魅力づくり、にぎわいづくりのための新しい施設を設置することも検討してはどうか。

学校について

- 小規模校のメリットや役割もあるはずだ。西部小学校では縦割り(学年を跨いだ)班活動を行うなど工夫をしている。
- 学区は通学の安全性を重視して再編してもよいと思う。
- 中学生は地域とのつながりが小さくなるので、中学校の統合によって地域から離れることについての問題は少ない。
- 塩津中学校のほうが近いのに中部中学校に通っている生徒もいるので、中学校の統合を検討する際は塩津地区との関連も含めて検討したほうがよい。

公民館について

- 公民館は歴史文化の継承やお祭りなどの地域活動の拠点であるため、それぞれの地区に残すほうが良い。

児童クラブ・児童館について

- 小学校からの移動の際の危険をなくすため、放課後児童クラブは小学校の敷地内に設置されるとよい。
- 公園の中にちゅうぶ児童館を維持することは利便性の面からもありがたいが、他の施設が集まる中でちゅうぶ児童館だけが独立してしまうのは残念だ。

その他

- 社会の変化に伴い、人が減ることで住民の負担が増えている地区もあるため、学区の再編に合わせて行政区の見直しも必要になるかもしれない。地域活動の担い手となる人を育てること、地域への意識を高めることなど今から将来に向けた対策を講じていく必要があるだろう。
- 防災、教育、地域のつながりなど総合的にまちづくりのプランを考えなければならないため、公共施設の配置だけで将来を考えるのは難しい。

児童・生徒数が減少していきます。

各学校区の年少人口の推計をもとに将来の児童生徒数を試算しました。

右の表のとおり、市目標値ベースでは児童生徒数が減少するものの、小学校については30年後でも現在と同じ学級数をなんとか維持できる見込みです。しかし、国の研究機関である社会保障人口問題研究所の推計値ベースでは、どの小学校も1学年1学級となってしまうことが想定されています。また、1学級の人数が10人未満となる場合、同一クラス内での班活動が行いにくい、集団活動の効果が引き出しにくいなどの課題がでてきます。

適正な学校規模はどういったものかということも踏まえて、将来の施設配置を検討する必要があります。

小中学校の児童・生徒数見込み

	令和元年 (5.1現在)		30年後の見込み (市目標値ベース)			30年後の見込み (社人研推計値ベース)		
	人数	学級数	人数	1学年人数	学級数	人数	1学年人数	学級数
蒲北小	304	12(2)	231	38.5	12(2)	199	33.2	6(1)
蒲西小	71	6(1)	61	10.2	6(1)	57	9.5	6(1)
中央小	283	12(2)	252	42.0	12(2)	190	31.7	6(1)
中部中	370	12(4)	306	102.0	9(3)	251	83.7	9(3)

※ 30年後の見込み人数：

学校区単位の人口見込み（蒲郡市まちひとしごと人口創生ビジョン目標値、社会保障人口問題研究所推計値をもとに学校区ごとに試算）における年少人口の変動率を令和元年における各学校の児童生徒数にかけて算出。

※ 1学級あたりの人数は35人を上限として計算。()内は1学年当たりの学級数。

皆さまのご意見をお聞かせください!!

オープンハウスのご案内

〈第1回〉

会場：フィール蒲郡店

日時：令和元年11月10日（日）

午前10時30分から午後3時30分まで

- 会場では、ワークショップでの検討内容などをパネル展示をもとに市職員が説明いたします。
- 簡単なアンケートにお答えいただき、蒲郡北地区の皆さまからご意見をいただきます。

〈第2回〉

会場：蒲郡市立図書館

日時：令和元年11月16日（土）

午前10時から午後2時まで



オープンハウスの様子

ご意見募集

ワークショップに参加している方だけでなく、地区にお住まいのたくさんの方のご意見を踏まえて「地区個別計画」の策定に向けた検討を進めていきます。

- **ワークショップで検討されている内容について**
- **蒲郡北地区のまちづくりや公共施設について**

将来、蒲郡北地区はどんな地域になってほしいですか。日々の生活で感じる些細なことで構いません。以下のお問い合わせ先まで、メール・ファクス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

ご意見をお待ちしています!!



次回ワークショップについて

日時：12月22日（日）

午後1時30分～午後4時30分

場所：中部中学校 図書室

内容：再配置プラン案の評価について

どなたでも傍聴ができます。

傍聴ご希望の方は、

右のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部公共施設マネジメント課

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号

E-mail k-mane@city.gamagori.lg.jp

TEL 0533-66-1214 / FAX 0533-66-1183

詳しくは市HPをご覧ください。

<http://www.city.gamagori.lg.jp/site/management/machizukuri-kokyoshisetsu.html>

